

伝統文化と持続可能性 ～受け継がれる恩納村のアイデンティティ～

8月に入り、いよいよ旧盆（今年は8月25日～27日）の季節を迎えます。恩納村内でも各地区でエイサーが行われ、太鼓の音や力強い歌声が響き渡ります。今月は、私たちの地域の「伝統文化と持続可能性」について考えます。



恩納村SDGs推進事務局
小田 祐子

■ 伝統芸能や祭りの継承と、住み続けたい村づくり

恩納村のエイサーは、地謡（じうてー）も含めてすべて生の演者で構成され、地域の人々の手によって大切に受け継がれています。県外からきたSDGs推進事務局の職員も着任1年目に各地区でエイサーを観覧したとき、その熱気と生の迫力に深く感動していました。

伝統芸能や祭りは単なる夏のイベントではありません。世代を超えて住民が集い、絆を深めることで、地域のアイデンティティ（恩納村らしさ）を形作る大切な役割を担っています。先人たちから受け継いできた文化を守り、誇りを持って次世代へ繋いでいくことは、「これからもこの村に住み続けたい」と思える持続可能な村づくりに深く結びついています。



恩納区青年会



瀬良垣区青年会

■ 恩納村博物館 企画展のご案内

8月は博物館にて、南恩納地区の豊年祭と地域の歴史展を実施しています。地域のルーツや豊かな文化に触れる絶好の機会ですので、ぜひ足をお運びください。

■ 今日からできる!アクション

文化を守り育てることもSDGsアクションです。

- 地域の行事に足を運ぼう: 旧盆のエイサーや地域のお祭りを見に行き、演者へ拍手を送ることで、地域の文化継承を応援しよう。
- 地域の歴史を知ろう: 博物館の展示などで自分の住む地域の歴史や伝統を学び、村の魅力を再発見してみよう。

夏休みSDGsワークショップのお知らせ

サンゴの海をまもるベチバーでアップサイクル! 海のキーホルダーづくり

日 時 8月14日(金) 14:00～15:00

会 場 恩納村文化情報センター

参加費 無料(事前申し込み) 定員あり

申込方法 二次元コード又は文化情報センター



お問い合わせ: 文化情報センター ☎982-5432